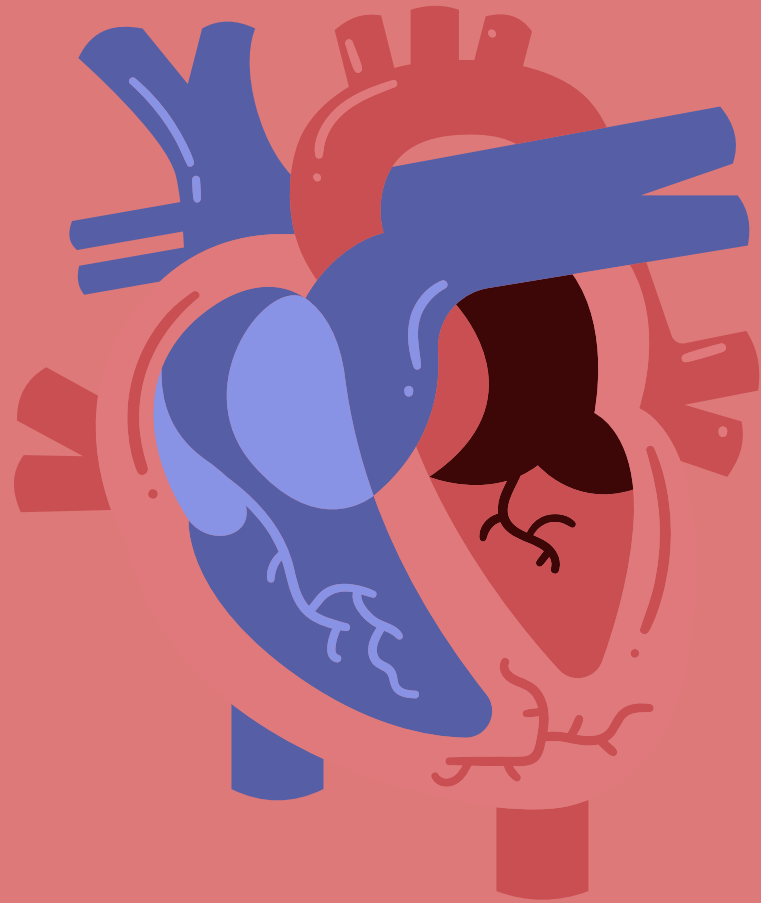




徐脈編③

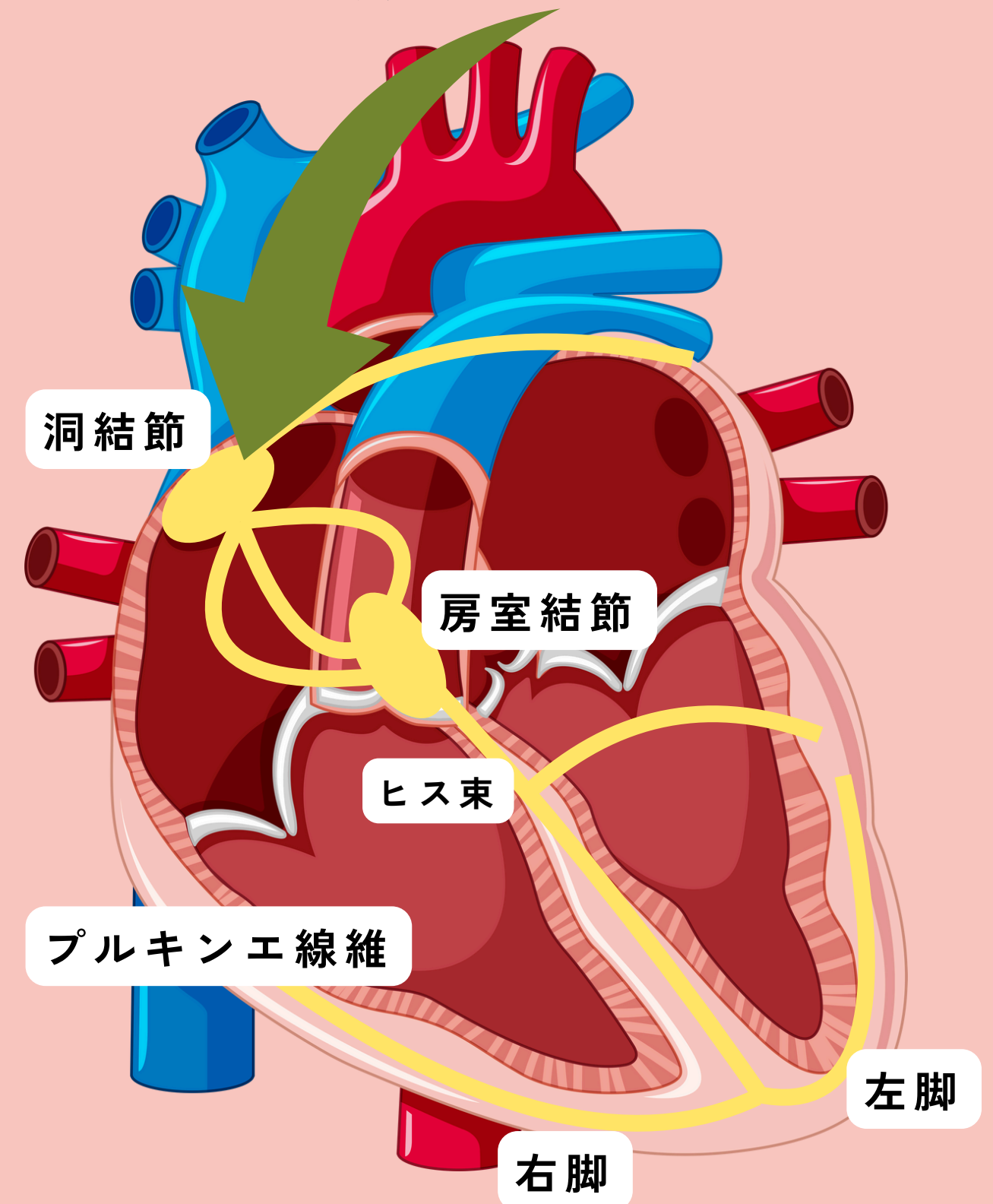


洞性徐脈・洞房ブロック
洞停止・徐脈頻脈症候群

洞不全症症候群（SSS：Sick Sinus Syndrome）とは？

洞不全症候群は、洞結節の機能が低下して心拍数が遅くなる徐脈性不整脈です。刺激伝導系では、洞結節→房室結節→His束→脚枝→プルキンエ線維と信号が伝わりますが、SSSでは洞結節の異常により、この最初の信号が正常に発生または伝導されなくなります。めまいや失神、倦怠感などの症状が出てることがあります。特に高齢者では注意が必要です。

最初の信号である『洞結節』が正常に発生または伝導されなくなります



Rubinstein分類について

SSSの重症度を分類を覚えましょう。

I型

原因不明の洞性徐脈
(< 50 /分)

II型

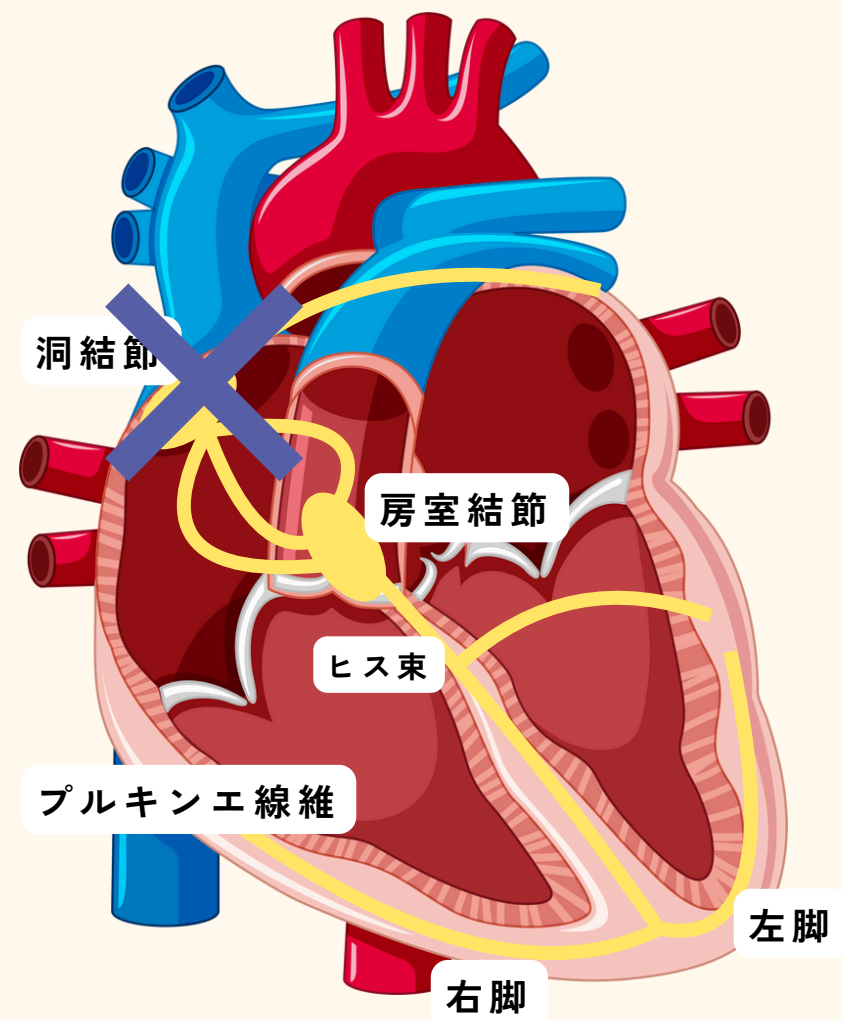
洞停止
洞房ブロック

III型

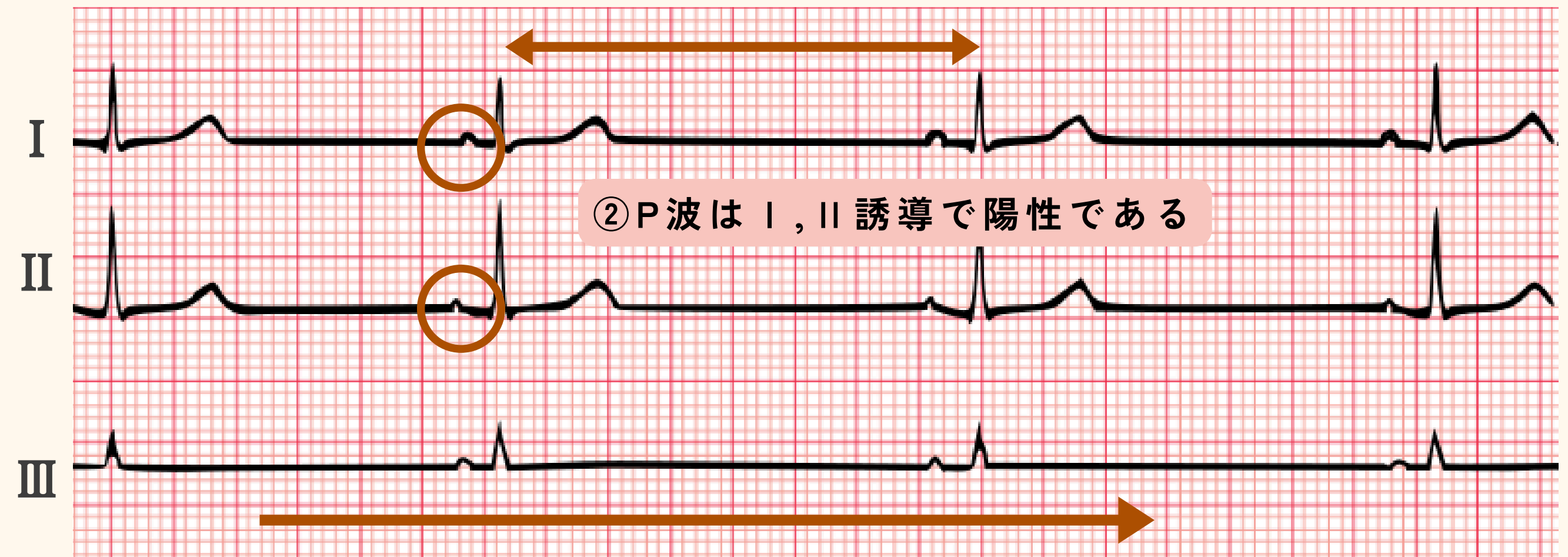
徐脈頻脈症候群

洞性徐脈

Rubinstein I 型



① 心拍数は50 / 分未満である

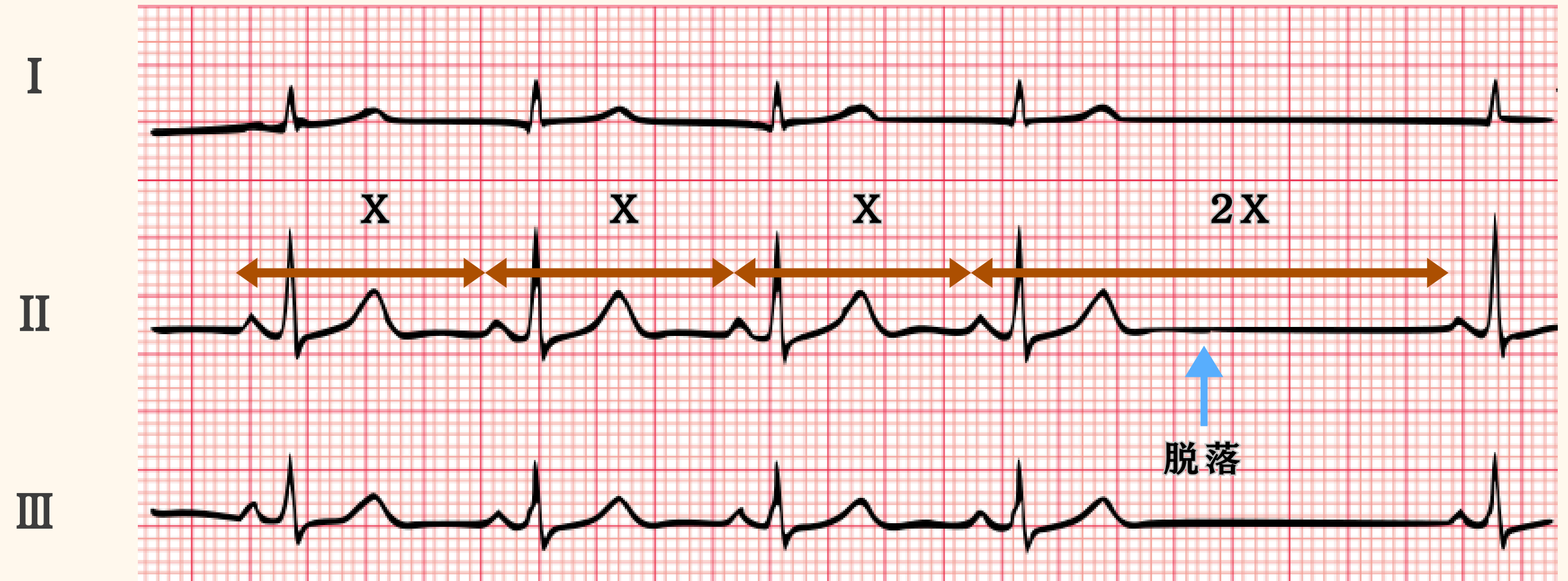
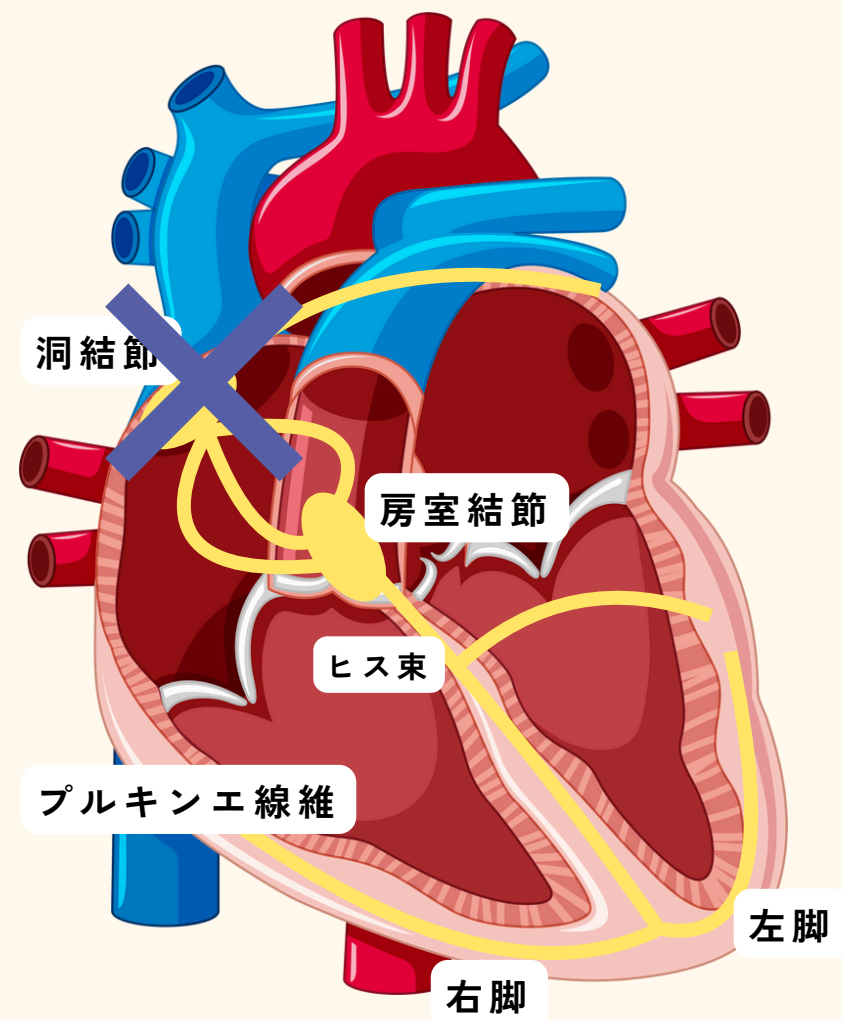


② P波はI, II誘導で陽性である

③ 同じP-QRS-Tパターンが連続する

洞房ブロック

Rubinstein II 型

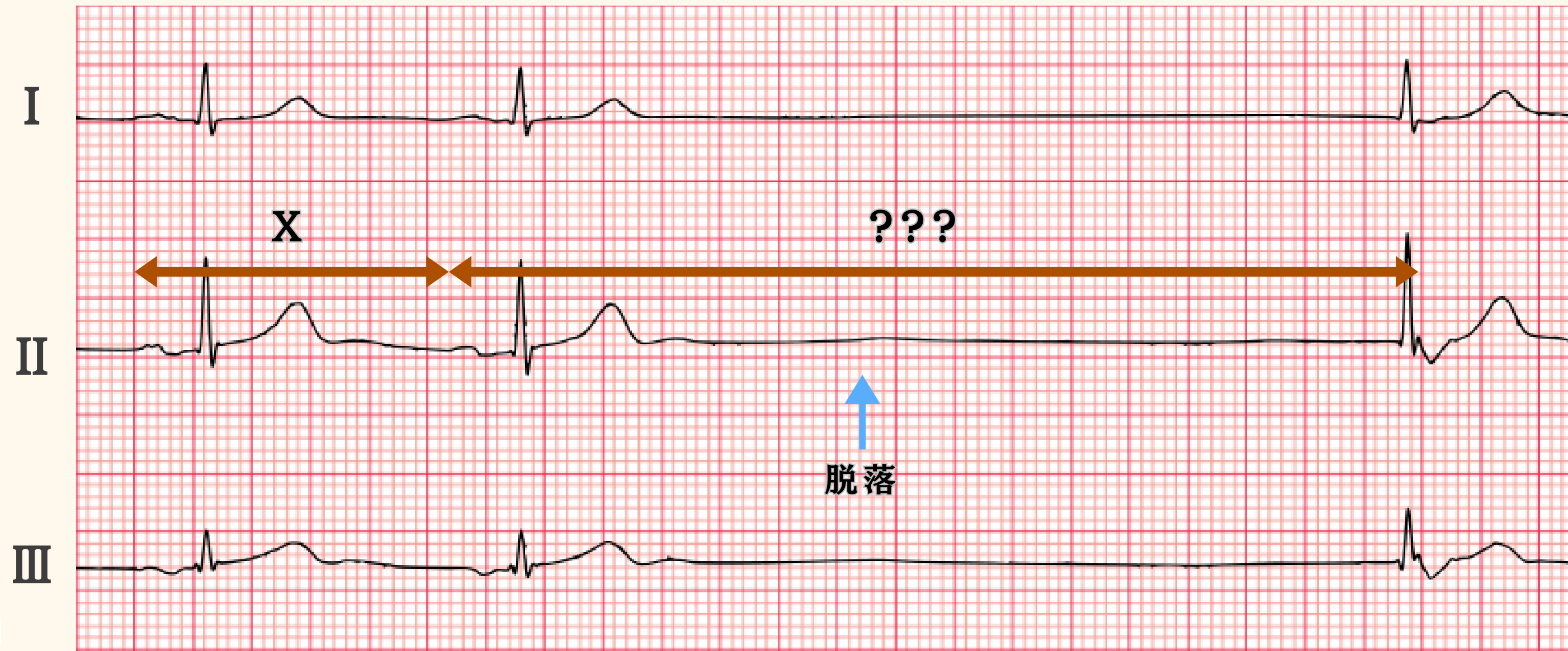
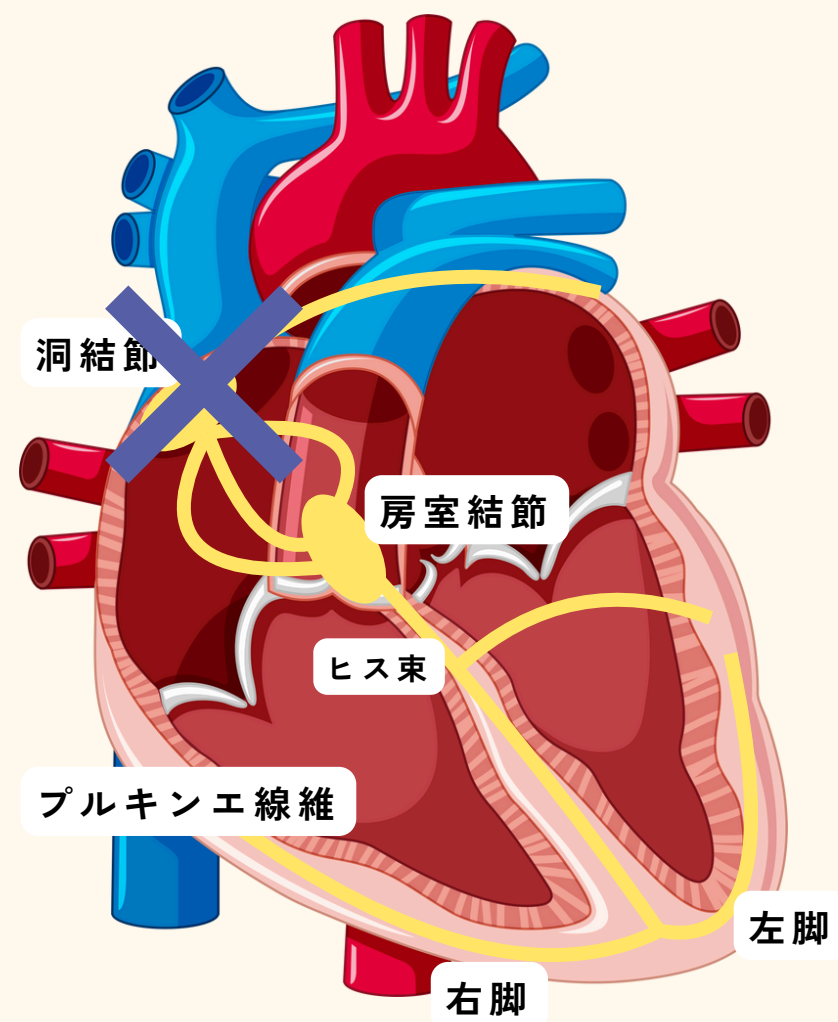


① P波がQRS波とともに脱落

② P-P間隔が一定の倍数で延長

洞停止

Rubinstein II 型



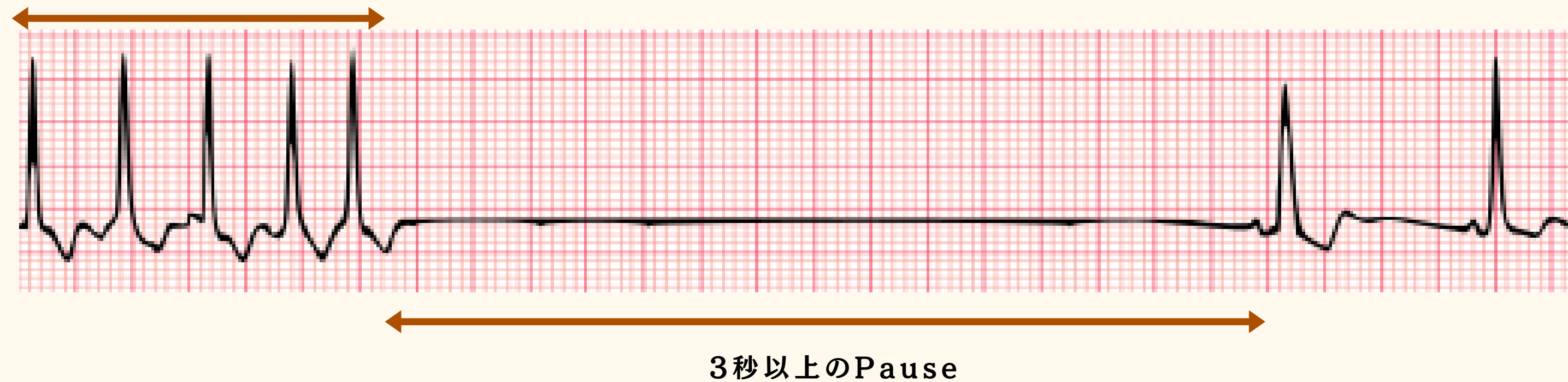
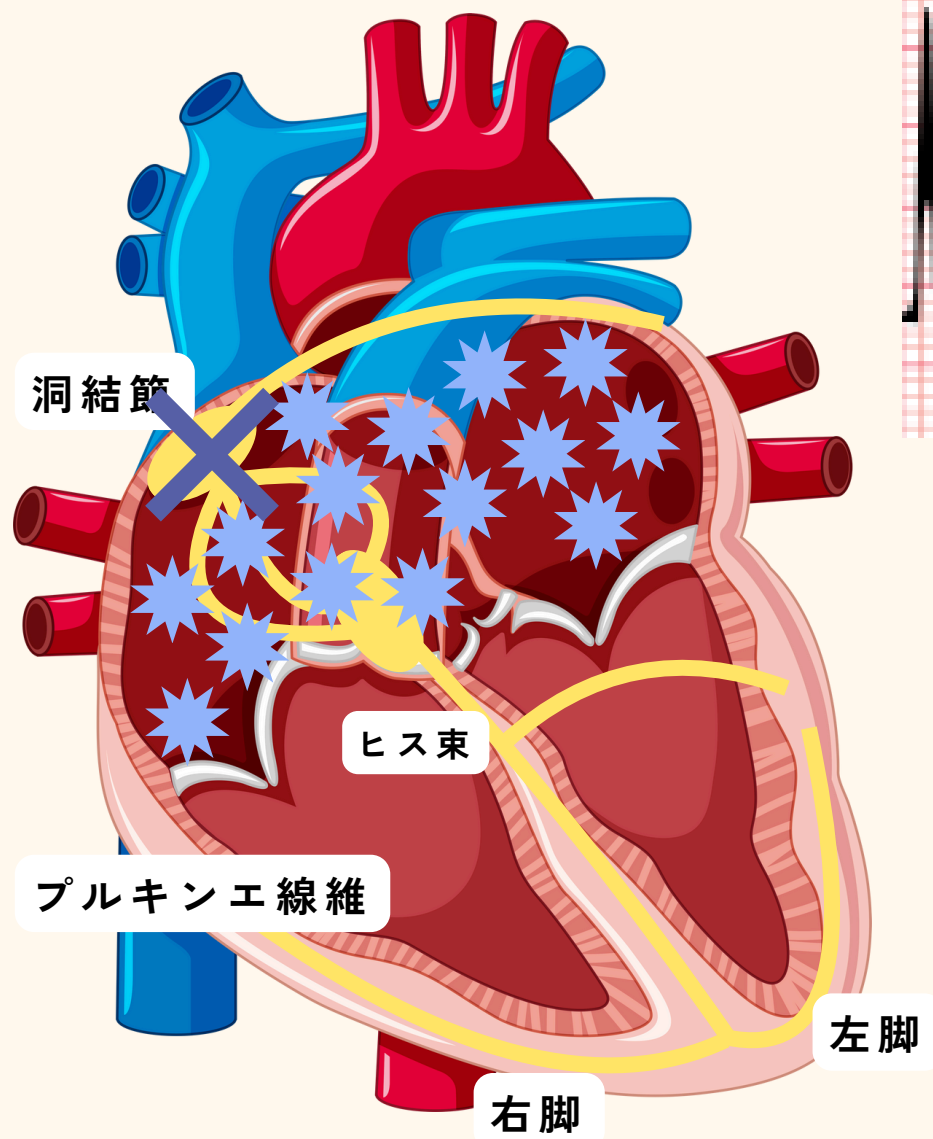
① P波がQRS波とともに脱落

② P-P間隔の停止時間が不定

徐脈頻脈症候群

Rubinstein III 型

頻脈性心房細動

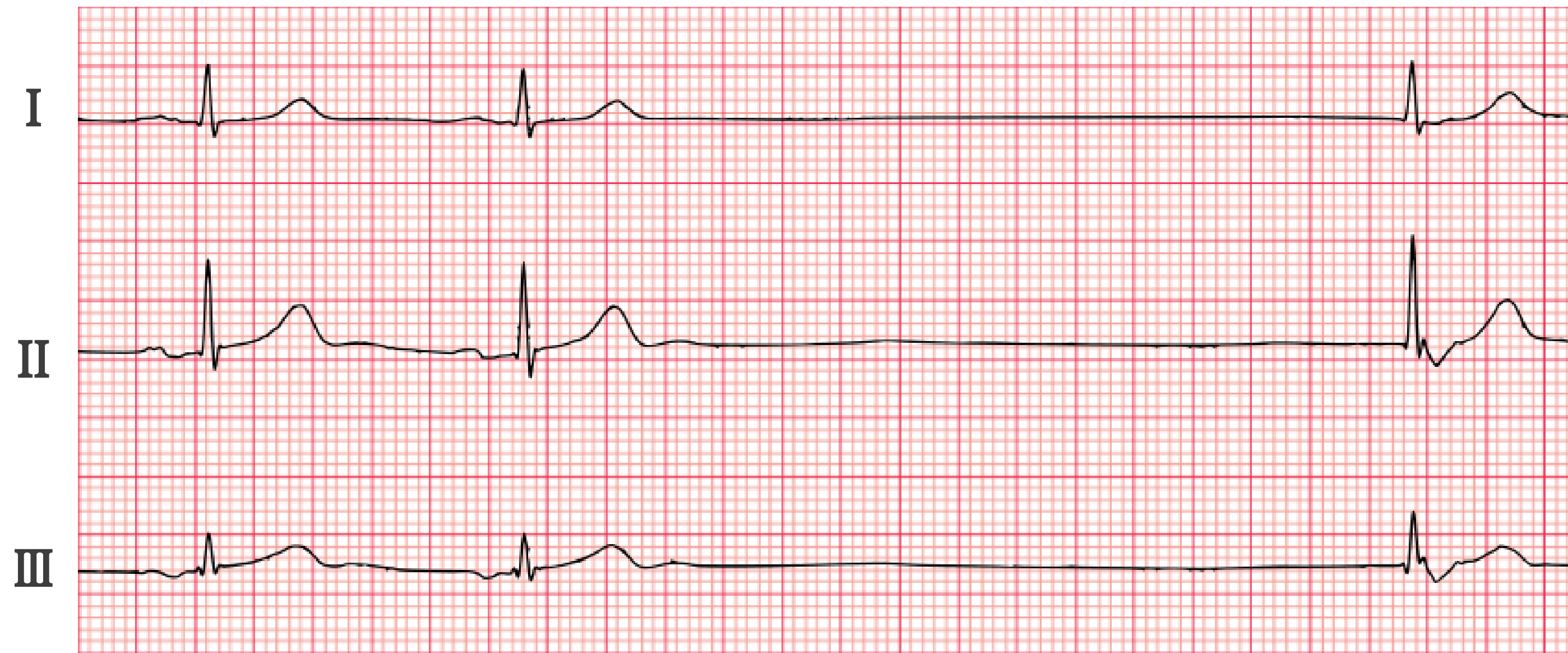


① 頻脈（心房細動、上室頻拍、心房粗動など）と徐脈（洞停止、洞房ブロック、洞徐脈など）両方出現する（徐脈頻脈症候群）

② 頻脈の後に長いPauseが生じることが多い

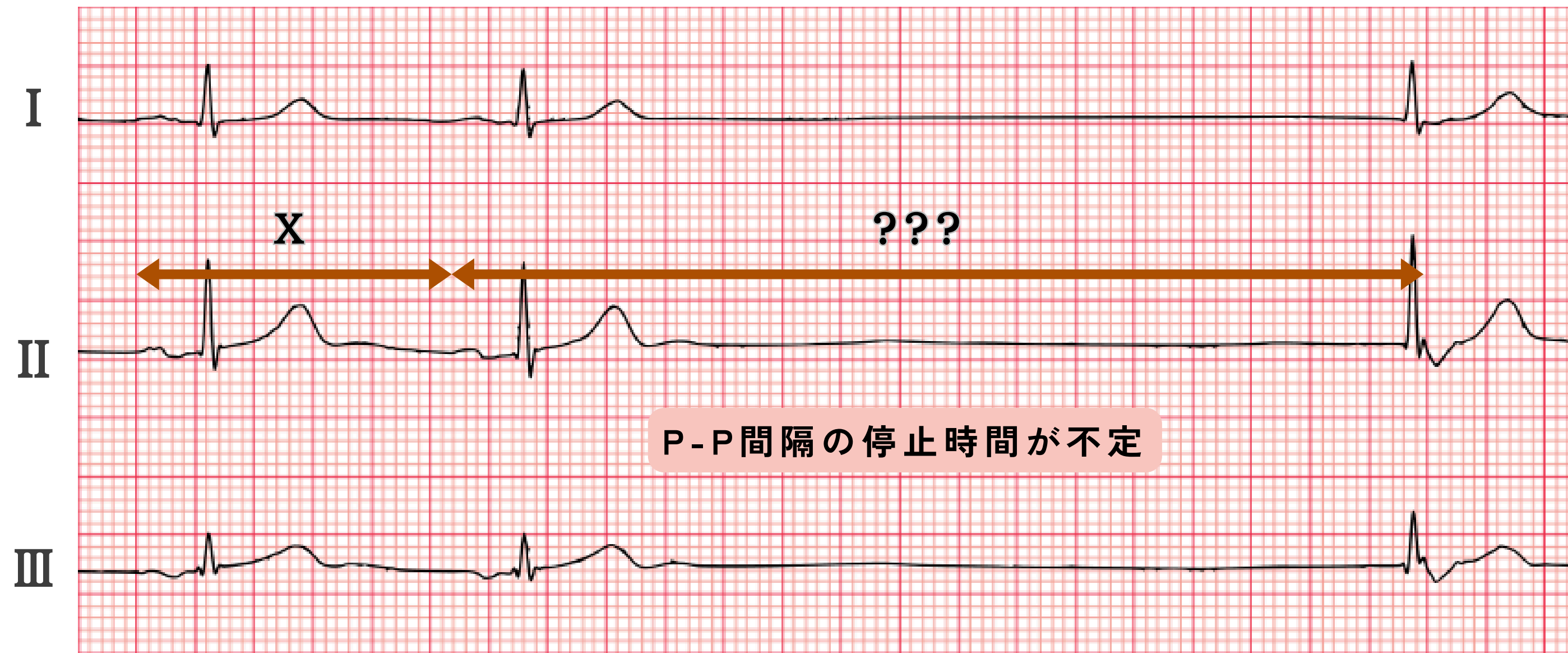
第1問

動画を一時停止して答えを考えてね！



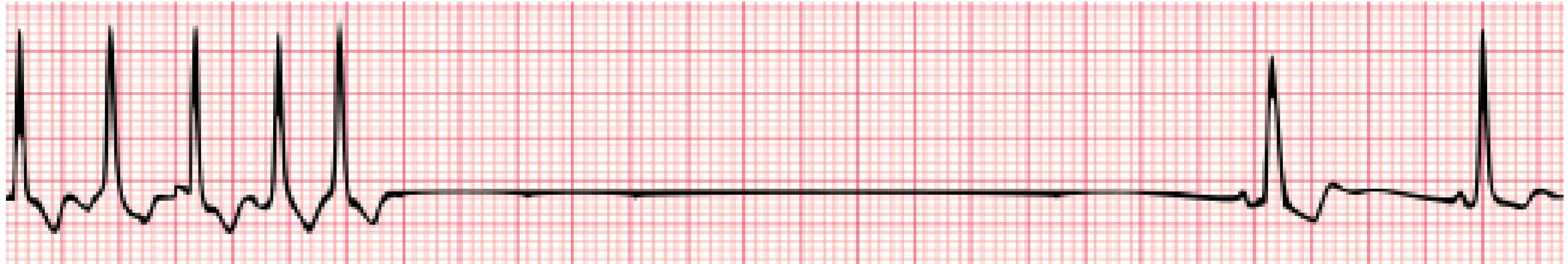
第1問

答え 洞停止



第2問

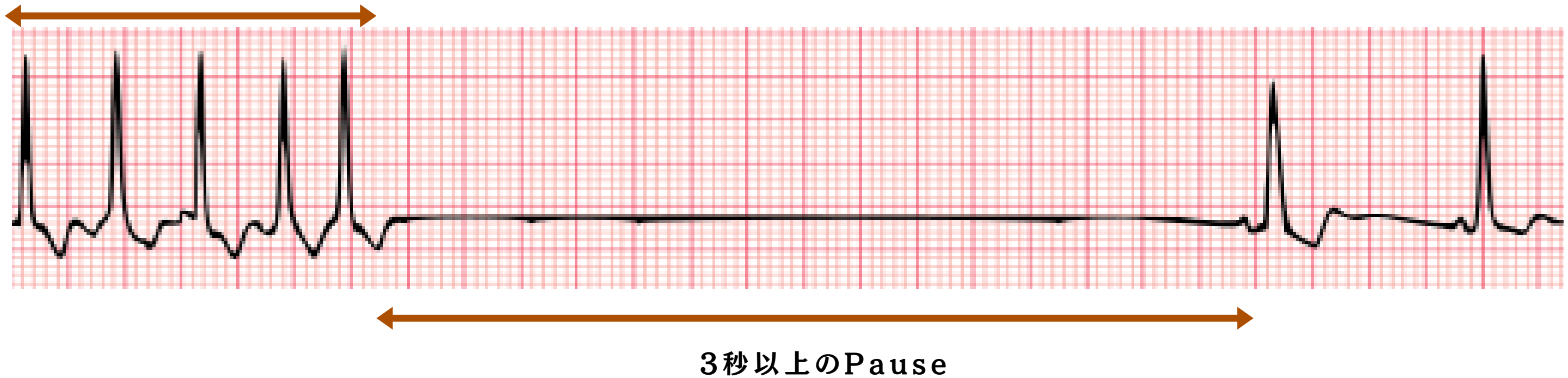
動画を一時停止して答えを考えてね！



第2問

答え 徐脈頻脈症候群

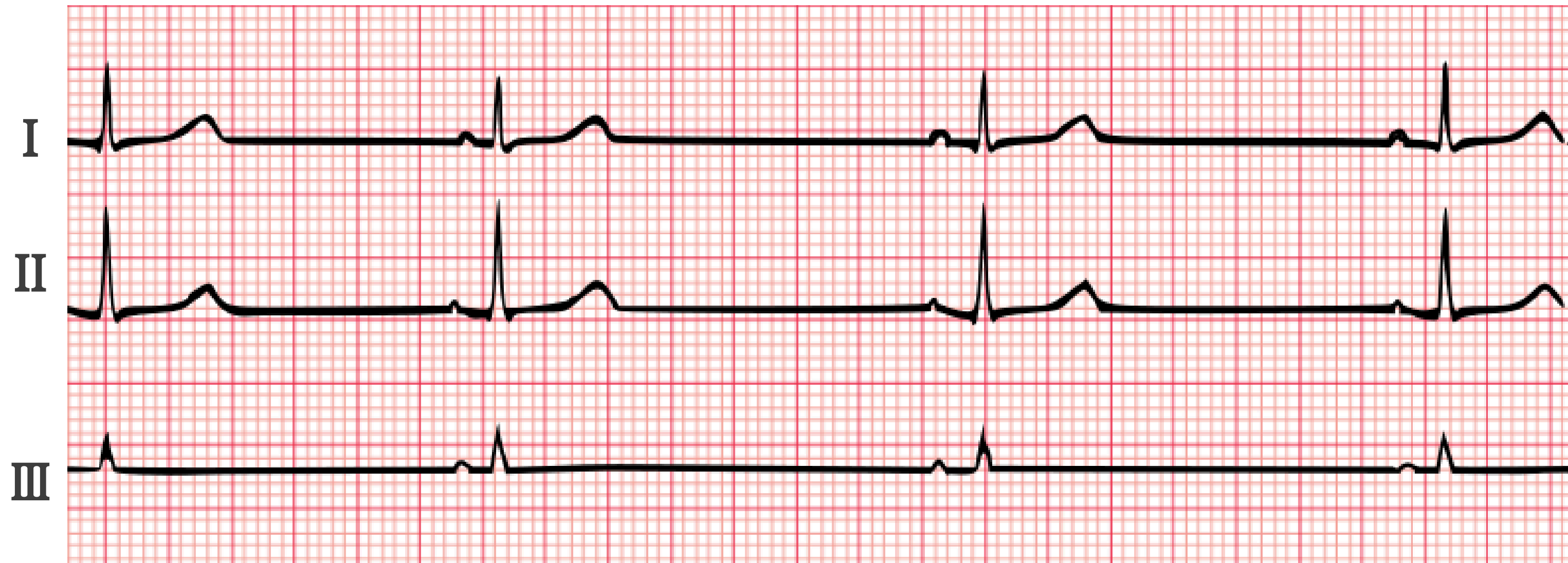
頻脈性心房細動



頻脈の後に長いPauseが生じることが多い

第3問

動画を一時停止して答えを考えてね！

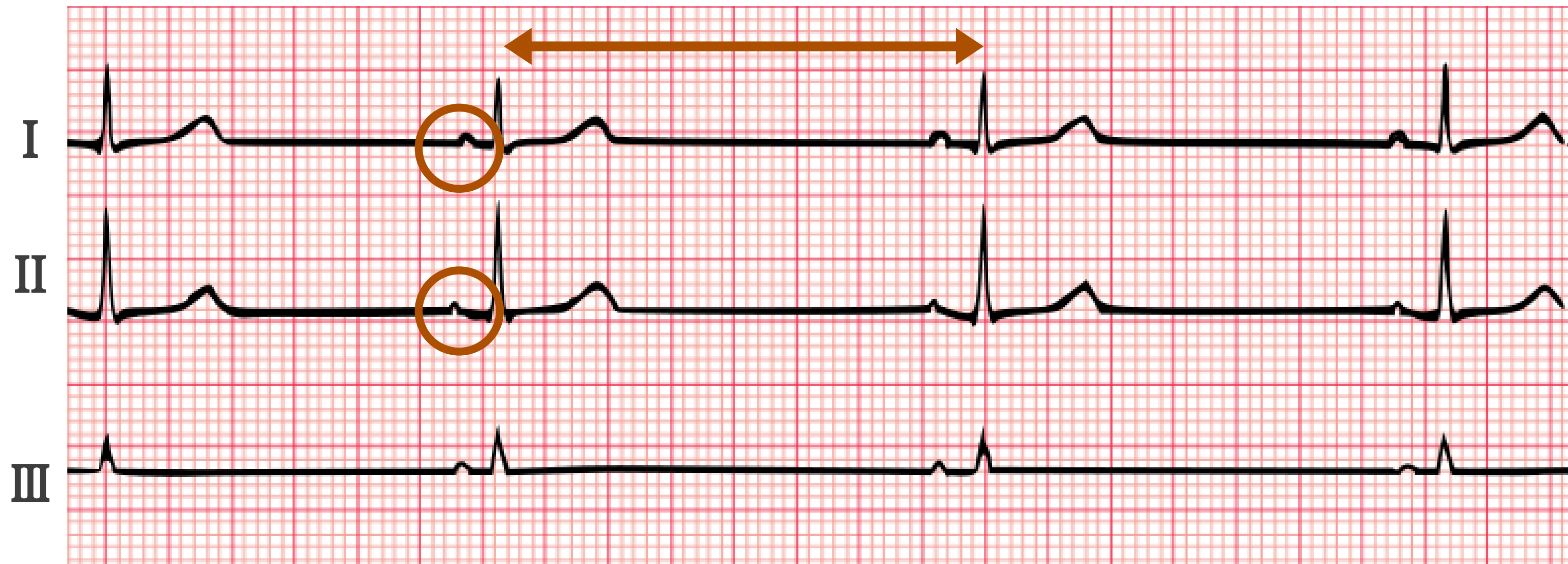


第3問

①心拍数は50分未満である

②P波はⅠ,Ⅱ誘導で陽性である

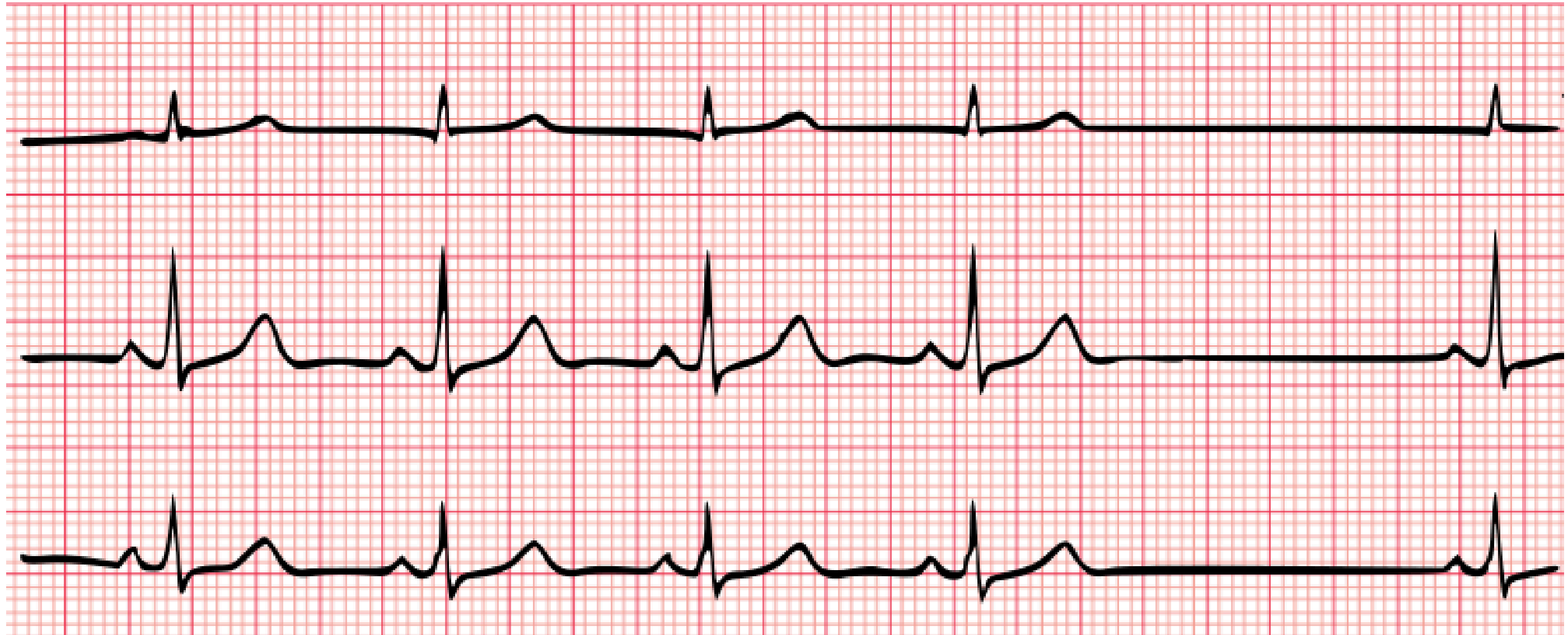
答え 洞性徐脈



第4問

動画を一時停止して答えを考えてね！

I

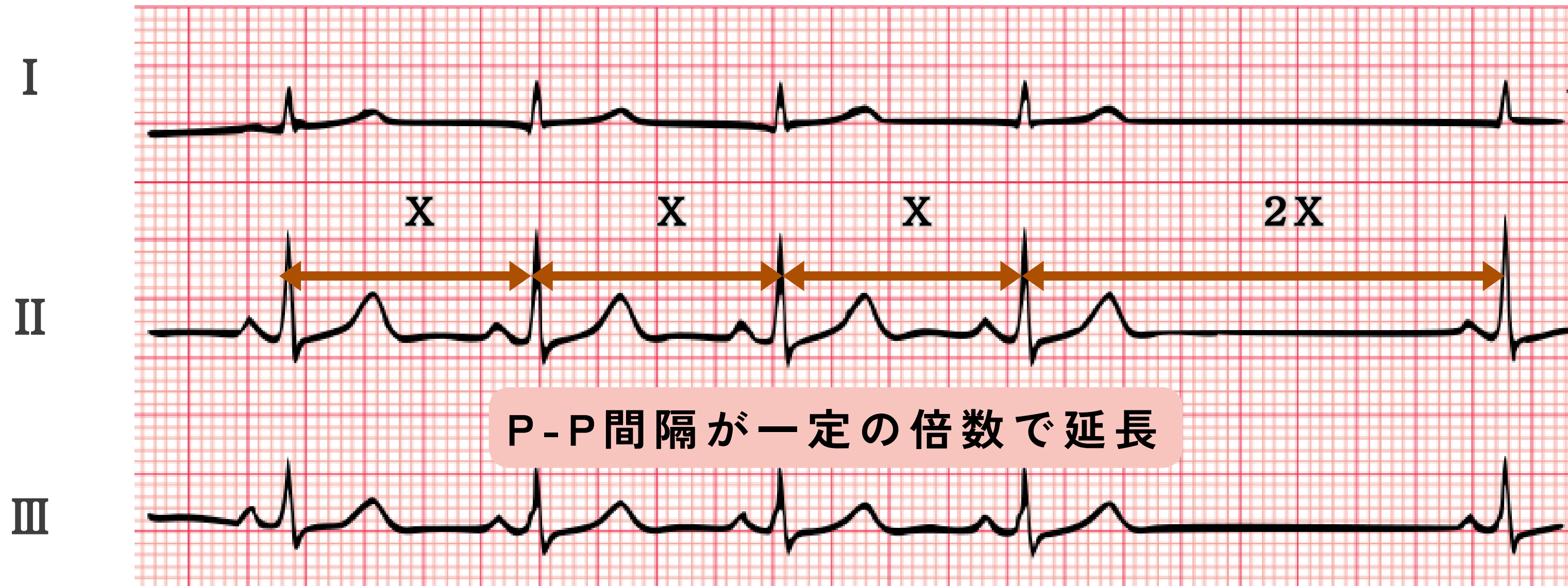


II

III

第4問

答え 洞房ブロック

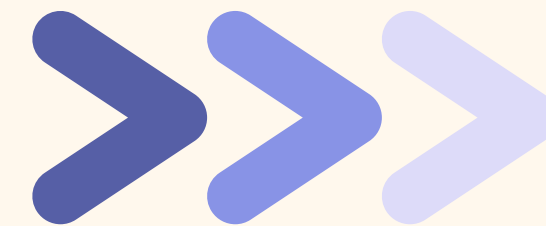


徐脈編③のまとめ

ココだけ抑えておけば判読できる！！

①心拍数50分未満である

②P波はⅠ,Ⅱ誘導で陽性である



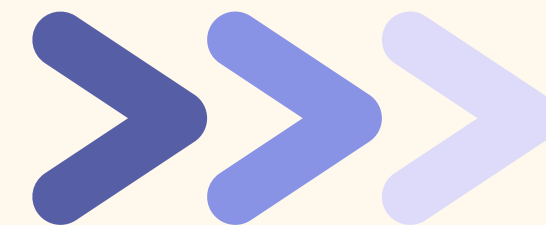
洞性徐脈

P-P間隔が一定の倍数で延長



洞房ブロック

P-P間隔の停止時間が不定



洞停止

頻脈の後に長いPauseが生じることが多い



徐脈頻脈症候群